

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37635
事業名	介護人材確保促進費					
評価担当課	所 属	保)高齢保健福 介護保険課			電話番号	011-211-2972
施策名	多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	介護ニーズの拡大等要因により、介護人材の有効求人倍率は3倍を超える状況で、介護人材の不足が喫緊の問題であるため、本市において独自の介護人材確保・定着の事業を実施している。また、将来生産年齢人口が減少することが予測され、物理的に介護人材の確保はより困難になるため、介護現場の負担軽減により、少人数でのサービスの維持が求められる。
	事業内容(何を実施し)	【事業取組内容】 ①介護事業者を対象にコンサルタントが事業所を訪問し、介護ロボット・ICT導入等生産向上に係る取組への伴走支援や必要性の周知事業(セミナー)を実施 ②介護事業者を対象に採用力向上に資するセミナーや採用支援を実施 ③介護の仕事に興味のある市民に向けて介護職についてのセミナーの実施 ④市内の小学生・中学生・高校生に対し介護職啓発用冊子を配布、中学生・高校生に対し介護のおしごと出張講座の実施 ⑤介護職員等に向けた労働環境作りやクレーム・ハラスメントに対する対応方法等についての介護人材定着研修の実施 ⑥介護事業者に向けた専門家が訪問相談を行うキャリアパス制度構築支援の実施 【令和5年度の実施結果】 ①令和6年度から実施②セミナーには196名(アーカイブ配信含む)が参加。合同就職説明会には11法人、求職者35名が参加。③3回実施した市民向けセミナーには計81名が参加。④市内の小学6年生、中学・高校1年生に介護啓発冊子を配布。出張講座は中学校で1回、高校で2回実施。⑤3回実施した介護事業者向けセミナーには計743名(アーカイブ配信含む)が参加。⑥相談事業所総数は22事業所、延べ相談時間は70時間。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	介護現場の負担軽減を進め、担い手減少下においても介護サービスの質が維持できるようにしたい。また、すでに働いている職員が定着し、さらに将来の担い手が少しでも増えるようにしたい。
	他都市の状況	多くの他市町村で人材確保のためのセミナー及び合同企業説明会を実施・委託している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☒ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	11,606 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度予算額	11,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	10,829 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	13,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	本市で生産性向上支援事業を実施する			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	-	-	80	120	160
	↓						
	アウトカム成果指標1	業務改善(ICT等)の取り組みを実施した事業所が増加する			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	-	-	40	80	120
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	令和6年度から新規で開始する事業の指標のため、令和5年度までの実績はなく評価は困難。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2	セミナー内容を活用した採用活動を行った事業所の割合が増			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	-	-	80	80	80
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	令和5年度中に指標を作成。令和6年度から統計をとるため、令和5年までの実績はなし。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	介護事業者及び市民向けの既存研修(テーマはニーズに合わせ変更)、生産性向上に向けてのセミナーや伴走支援を継続し、介護人材確保・定着に努めていく。